

日本医史学雑誌 第56巻 第1号

目 次

原 著

- Historical Development of Modern Anatomy Education in Japan Tatsuo SAKAI 3
京都大学整形外科学教室初代教授 松岡道治の事績, 業績
——第4報 医師および市民への講演活動—— 廣谷 速人 25
昭和初期解剖学用語の改良と国語運動 澤井 直, 坂井 建雄 39
イスラム医学における「非自然要素」 矢口 直英 53

研究ノート

- 近代ギリシャにおける『ヒポクラテス全集』の継承 菅野 幸子, 本田 克也 67

ひろば

- 医史学の伝統復活 薩摩琵琶 酒井 シヅ, 岡田 靖雄 77

資 料

- 長沢道寿『藪医問答』の解題と翻刻 アレッサンドロ・ビアンキ, 町 泉寿郎 136
池田文書の研究 (37) 池田文書研究会 79

追 悼

- 大塚恭男先生を悼んで 医史学と先生 酒井 シヅ 89
矢部一郎先生を偲んで 蔵方 宏昌 91

記 事

- 例会記録 93

例会抄録

- 戦前の日本赤十字社看護人の救護活動 山崎 裕二 93
日本のワクチン受容史
——ジェンナー博物館にて予防接種法を考える—— 渡部 幹夫 95
日本在来馬と西洋馬 ——日欧獣医学交流史と関連して—— 小佐々 学 96

書籍紹介

- 中田雅博著『緒方洪庵——幕末の医と教え——』 芝 哲夫 98
石井拓男・渋谷鉦・西巻明彦著『スタンダード歯科医学史』 関根 透 99
石井拓男・渋谷鉦・西巻明彦著『スタンダード歯科医学史』 宮武 光吉 100
Gabor Lukacs: *KAITAI SHINSHO* The single most famous Japanese book
on medicine & *GEKA SŌDEN* An early very important manuscript on surgery
..... ヴォルフガング・ミヒェル 101

.....	谷中 誠	103
投稿規定.....		138
編集後記.....		140

《本号の表紙絵》

『救民妙薬』

『救民妙薬』は、元禄6年（1693年）に水戸徳川藩第二代藩主徳川光圀が、藩医鈴木宗興（穂積甫庵）に命じて、民家日用の医療に供しうる処方等を採録・記述させ、刊行させた家庭養生書である。刊行は水戸徳川家累代の大業となった『大日本史』の編纂を担った「彰考館」である。『救民妙薬』の対象となった疾病や外傷、不調の項目は130項目、収録された処方方は397にのぼる。俗語をもって記し、収録された処方方も入手の難しい薬種は極力用いず、卑近に存在する諸物を用いた治方を紹介して、あくまでも日用に徹している。同書は文化3年（1806）年には、『増補救民妙薬集』として刊行され、以後多くの版を重ね、明治・大正の頃まで活字本としても刊行を重ねた。

（瀧澤 利行）